

## 器と食の伊万里ブランド連携事業支援

川久保 正行・藤 靖之

平成20年度地域資源 全国展開プロジェクト（小規模事業者新事業全国展開支援事業）に採択された本事業は、伊万里市の地域資源である「伊万里牛」と「伊万里鍋島焼」の2つの資源を活用して、双方に関係する飲食業と陶磁器製造の窯元（14社）とが一緒に協力して、新たな伊万里の特産品を開発する「特産品開発事業」に重点を置いて実施された。

### ・特産品開発事業

伊万里牛肉を主たる食材とする、新たな食メニュー開発に伴い、それらの食メニューに合わせた新たな食器及び鍋島文様を取り入れた「洋食器」などの特産品開発の取り組みがなされ、このことに対し食器製品開発の支援を行った。



図2



図3

### ・内容

食メニューの開発には、新たな食メニューの開発を行い、これらのメニューに合う食器として、井や重箱などの蓋物食器（4アイテム）を開発して、大川内山の「伊万里有田焼伝統産業会館」にて、新作展を開催し展示された。

また、伝統的な鍋島文様を取り入れた新たな洋食器「和紋洋食器」（6アイテム）を開発し、東京ドームにて開催された「テーブルウェア・フェスティバル2009」に出展展示を行い、これらの新作食器に対するアンケート調査を行うと共に、来場される首都圏エリアの焼き物ファンに対して、伊万里鍋島焼の認知度を高めるために広報活動が行われた。図1～3に食メニューに合わせた器を、図4～6に和紋洋食器を示す。



図4



図5



図1



図6